

〈周術期に注意を要する薬剤〉

分類	商品名		一般名	休薬の目安	出典
	院内採用	院外専用			
免疫抑制剤	イムラン	アザニン	アザチオプリン	メーカーに問い合わせるが情報なし	メーカー・DI情報
	なし	プレディニン	ミゾリピン	メーカーに問い合わせるが情報なし	メーカー・DI情報
	セルセプト		ミコフェノール酸	原則休薬しない	メーカー・DI情報
	タクロリムス プロGRAF		タクロリムス	①Dr.の54%が休薬(術前3~15日)、再開は(術後5~15日) ②大きな手術は1週間前に休薬。小さな手術は服用後48時間以内でなければ手術可能(服用後48時間は血中濃度高くなる為手術を控える) 術後は1~2週間休薬する	①日本整形外科学会 (整形外科医へのアンケート) ②日本リウマチ財団ニュース
	なし	プラケニル	ヒドロキシクロキシン	創傷治癒遅延なし、休薬なし	抗リウマチ薬の周術期の休薬に関する総説
	シクロスポリン	ネオール	シクロスポリン	可能ならば休薬してほしい(1週間)、再開は患者の状態による	メーカー・DI情報
	メトトレキサート	リウマトレックス	メトトレキサート	①大きな手術は1週間前に休薬。小さな手術は服用後48時間以内でなければ手術可能(服用後48時間は血中濃度高くなる為手術を控える) 術後は1~2週間休薬する ②整形外科予定の手術の場合継続投与する。整形外科以外の手術や、MTX12mg/週超の高用量投与患者の場合は、個々の症例によって判断する	①日本リウマチ財団ニュース ②MTX診療ガイドライン2016年版
生物由来製品	アクテムラ		トシズマブ	点滴静注(前後 3-4週)、皮下注(24日間)	メーカー・DI情報
	シンボニー		ゴリムマブ	関節リウマチ、潰瘍性大腸炎に関して原則休薬必要ないが、Dr.の判断にまかせるとのこと	メーカー・DI情報
	ヒュミラ		アダリムマブ	メーカーの情報・データなし。本剤使用後少なくとも、2週あけて手術が望ましい	関節RAガイドライン
	なし	エンブレル	エタネルセプト	①休薬は推奨されるが、休薬期間の目安はない ②エンブレルを週1-2回定期的に使用しているPtの場合は最終投与から2週後に手術可。術後リスク(感染)がなければ2週間には再開 ③1回投与分を休薬してから手術する。 感染リスクが高い場合は半減期(約80 hr)の3-5倍(10-16日)休薬してから2週後に再開	①RAIに対するTNF阻害薬使用ガイドライン ②米国リウマチ学会 ③イギリスRA学会ガイドライン
	レミケード		インフリキシマブ	休薬期間はないが、海外のガイドラインによると4週前	メーカー・DI情報
	オレンシア		アバセプト	休薬期間はないが、関節リウマチに使用する際、半減期10日間のため一定の間隔を考慮する(創傷治癒が生じるため)	メーカー・DI情報
	特定生物由来製品	献血ベニロンI	なし	人免疫グロブリン	ITPのとき手術5-7日前推奨
アコアラ		なし	アンチロピンγ	健常人と差がないため休薬なし	メーカー・DI情報
献血ノンスロン		なし	人アンチロピンIII	休薬期間規定なし	メーカー・DI情報
ハプトグロビン		なし	人ハプトグロビン		
抗D人免疫グロブリン		なし	抗D人免疫グロブリン		
テタノブリン-IH		なし	破傷風抗毒素		
ベタフェロン		なし	インターフェロンβ 1b	骨髄抑制などDr.の判断による	メーカー・DI情報
アブラキサン	なし	バクリタキセル			
ステロイド				メーカーに問い合わせたが、情報なし	書籍:事前指示薬の周術期の薬の中止・再開(エキスパートナーズ)